

(国) 福島大学

人間発達文化学類
文化探究専攻

キャリア教養学科 (安積黎明高校出身)

Q1. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

入学前から考えていました。きっかけは、大学受験に失敗した後、高校の先生に桜の聖母短期大学で編入を目指す道を提案していただいたことです。また、短大で学んでいくうちに専門的に学びたい分野が定まり、編入したいという気持ちが強くなりました。

Q2. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。ガイダンスはいつ、どのような内容ですか。

1年次から「キャリアデザイン」という授業で英語の学習方法や小論文の書き方、志願理由書で重要な要素などを学んでいきます。また、週に2回、編入英語の授業があり、英単語や英文訳読の力を向上させることができます。

Q3. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

英語は1年次から編入英語の授業の中で指導を受けたり、個別で過去問などの添削をお願いしたりしていました。小論文も授業で1年次から書き方や対策の指導を受け、2年生になってからは個人的に過去問などを解いて先生方に添削をお願いしていました。

Q4. 編入対策で努力したことは何ですか。具体的にどのような勉強をいつからしましたか。

1番努力したことは英語です。1年生の冬から本格的に過去問や市販問題集を利用して長文読解の練習を始めました。特に復習に力を入れ、できなかった問題やわからない単語をノートにまとめていたので、試験当日もそのノートで最終確認をすることができました。

Q5. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

聖母では法学、教育学、心理学など様々な分野の学問を学ぶことができたので、知識をつけるとともに視野を広げることができました。このことが小論文を書く上でとても役に立ちました。

Q6. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

面接で想定外の質問をされても動揺せず、笑顔で答えるよう心掛けなさいというアドバイスをいただいたお陰で、本番はどんな質問にも笑顔でハキハキ答えることができました。

Q7. ①大学(短大)受験の時の気持ち・②短大入学時(学生生活)の気持ち・③編入試験前の気持ち・④合格した時の気持ちを書ける範囲で教えてください。

- ① 短大受験時は、推薦ということもあり、あまり緊張せずに面接に挑むことができました。
- ② 周りに編入を目指す友達があり、みんな入学当初から努力していたので私も編入に向けて頑張ろうという前向きな気持ちでした。

③ 受かるか受からないかはあまり考えず、今までやってきたことを信じて自分の全力を出すことに専念しようと考えていました。

④ とてもうれしかったです。今までの努力が実り、ここまで頑張ってきてよかったと心から思うことができました。

Q8. これから聖母短大に入学する、または聖母短大から編入を目指す後輩に伝えたいことは何ですか。

聖母では、幅広い分野の学問を学ぶことができるため教養のある女性を目指すことができます。また、アクティブラーニングが多く、思考力や表現力も養うことができますので聖母の学びだけでも社会で活躍できる力を身に付けることができます。その上で、より専門的に学びたいことがある学生さんは編入を目指すことをお勧めします。編入に向けて努力することも編入試験に合格することも簡単なことではありません。しかし、編入に向けた学習はたとえ編入に失敗したとしても無駄にはなりませんし、2年間頑張ることができたという自信にもなると思います。聖母の先生方は頑張る学生を全力で応援して下さるので、ぜひ先生力を借りながらコツコツ努力をして編入を目指してください！応援しています！